

令和8(2026)年度東京大学大学院 工学系研究科博士後期課程学生募集要項 【出願日程B・システム創成学専攻】

・本募集要項の内容を変更する場合は、本研究科 WEB サイトで公表しますので、随時確認してください。

(<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/guideline>)

・出願後、出願・入試等に関するお知らせはメールで送信します。WEB 出願システム(application.t[at]ic.t.u-tokyo.ac.jp) 及び東京大学工学系研究科学務課大学院チーム(daigakuin.t[at]gs.mail.u-tokyo.ac.jp) からのメールを受信できるように設定しておいてください。※[at]を@に置き換えてください。

教育研究上の目的

本研究科は、工学を基盤として未踏分野の開拓や新たな技術革新に果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献するとともに、科学技術に関する体系的な知識と工学的な思考方法を身につけ、多様性への理解と広い視野を持って社会的課題の解決を目指す実行力を持った人材を育成することを教育研究上の目的とする。

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

1. 求める学生像

- 1) 本研究科が掲げる教育研究上の目的に共感し、強い意欲を持って学ぼうとする人
- 2) 専攻する分野における高度な専門知識に加えて、工学的・論理的な思考力及び創造力を有し、社会課題の解決に強い意欲を持つ人
- 3) 優れたコミュニケーション能力、外国語能力及び健全な倫理観を持ち、多様性を尊重して国際社会に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の方針

求める学生像に基づき、筆記試験、口頭試問を実施し、併せて出身校の学業成績や外国語能力等を含む提出書類等を評価して選抜します。その際に以下の能力を有しているかを重視します。

- ・志望分野において高度な専門性を身につけ、工学的な深い思考力を有していること。
- ・未知の課題を発見して、それを創造的に解決・展開する資質を有していること。
- ・国際的なコミュニケーション能力を有しており、それによる研究成果の発信ができること。

1. 出願資格

- (1) 日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和8(2026)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者(注1)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において

位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者

- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び令和8(2026)年3月31日までに合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注3)
- (7) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和8(2026)年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注1)(注2)(注3)
- (8) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、令和8(2026)年3月31日において24歳に達しているもの(注4)

(注1) 上記(1)、(7)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(3)、(7)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(6)又は(7)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、事前に出願資格及び提出書類等を確認の上、令和7(2025)年11月5日(水)までに工学系研究科学務課大学院チーム(11.問合せ・連絡先 参照)に提出すること。

(注4) ①上記(8)に該当する者とは、上記(1)から(7)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を示す。

②上記(8)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、事前に出願資格及び提出書類等を確認の上、令和7(2025)年11月5日(水)までに工学系研究科学務課大学院チーム(11.問合せ・連絡先 参照)に提出すること。

③入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

2. 社会人受入れ

- (1) 専攻において、社会人を受け入れる。
- (2) 教育・研究機関、会社等に正規職員として在職している者が、入学後もその身分を有したまま、在学することができる。
- (3) 選抜に当たっては、修士の学位論文又はこれに代わる研究業績等を勘案する。

3. 出願方法

- (1) 入学願書等は WEB 出願システムにて作成すること。

(<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/guideline>)

(2)出願はオンラインに限る。詳細は、本研究科 WEB サイトで確認すること。

(<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/guideline>)

(3)出願期間

令和 7(2025)年 11 月 28 日(金)から 12 月 4 日(木) 午後 3 時 (日本時間) 【厳守】

*ただし、「提出書類等」のうち「その他」については、提出の期間や方法が異なる場合があるため、志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

4. 試験期日及び場所

試験は、令和8(2026)年1月中旬から2月上旬頃に行う。試験期日及び試験場については、志望専攻の「専攻入試案内」及び専攻WEBサイトを確認すること。

5. 選抜方法

(1)入学者の選抜は、第 1 次試験及び第 2 次試験による。

(2)第 1 次試験における選抜は、筆記試験、口述試験及び提出書類による。

(3)第 1 次試験における選抜において提出書類による書類選考を行い、書類選考の合格者のみを対象として筆記試験、口述試験等を行う場合がある。なお、書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。詳細は志望専攻の「専攻入試案内」等により確認すること。

(4)第 2 次試験においては、修士の学位論文又はこれに代わるものについての試験を行う。上記の第 2 次試験は、第 1 次試験の合格者のみについて行う。

(5)筆記試験、口述試験、提出書類及び修士の学位論文等を総合的に判定し、選抜する。

6. 専攻別試験科目及び募集人員

2025 年 10 月、新たに出願日程 B を実施することとなった専攻は以下の通り。

出願日程 B の試験科目については、「専攻入試案内」及び専攻 WEB サイトにより確認すること。

専 攻 名	募集人員
システム創成学	若干名

7. 提出書類等

書 類 等	提 出 者	摘 要
入学願書	全員	WEB出願システムの指示に従い、必要事項を正確に入力すること。 入試に関する連絡はメールで行うので、必ず連絡のとれるメールアドレスを記載すること。
顔写真データ	全員	WEB 出願システムの指示に従い、顔写真データをアップロードすること。データの形式は、特に問わない。 ・上半身脱帽、正面向き、背景無地、出願前 3 ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの。 ・顔写真データは、受験票に使用し、受験時に本人と照合を行うので、画像に加工や修正をしないこと。本人と確認できない場合は、受験を続けることができない場合があるので注意すること。 ・顔写真データは、合格後、学生証作成の際にも使用する。
検定料	全員 <u>〔本学において令和 8(2026) 年 3 月に修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者及び日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く〕</u>	30,000円 ・銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行、中国決済又はクレジットカードで支払う。 ・WEB出願システムの指示に従い、証明書貼付台紙又は照会結果をアップロードすること。 ・いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。 【銀行振込の場合】WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書を用いて、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振り込むこと（ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと）。振込方法等の詳細は、WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書及び注意書を参照すること。 【コンビニエンスストア、ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行、中国決済又はクレジットカードでの払込の場合】手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院工学系研究科検定料払込方法」を参照すること。
日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書	日本政府(文部科学省)奨学金留学生 〔本学に在学中の者(研究生を含む)を除く〕	・WEB出願システムの指示に従い、アップロードすること。 ・奨学金受給期間の入ったもの。

出身大学院の 修了証明書	既修了者（出願時に既に修士の学位を取得している者） [本研究科修士課程又は専門職学位課程修了者を除く。]	・WEB出願システム及び以下の指示に従い、アップロードすること。 1) 原本の写し（PDF）をアップロードすること。合格した際には、入学手続き時に原本（出願時にアップロードした証明書の紙媒体）を提出すること。 2) 出身大学院が発行したもの（公印入り）。複数ある場合には1つのPDFに結合すること。 3) 外国の大学を卒業した場合、取得学位が明記されていること。修了証明書に取得学位が記載されていない場合は、学位取得証明書もあわせて提出すること。日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書には、出身大学が発行し公印を押印した日本語訳又は英語訳を添付すること。 4) 出願資格(2)の者は、大学改革支援・学位授与機構が作成した学位授与証明書をアップロードすること。 5) 成績証明書に、修了年月日・学位が記載されている場合は不要。
出身大学 及び出身大学院の 成績証明書	全員 [本研究科修了（見込）者を除く。]	・WEB出願システム及び以下の指示に従い、アップロードすること。 1) 原本の写し（PDF）をアップロードすること。合格した際には、入学手続き時に原本（出願時にアップロードした証明書の紙媒体）を提出すること。 2) 出身大学及び出身大学院が発行したもの（公印入り）で、学部（教養課程を含む）及び修士課程（博士前期課程）又は専門職学位課程の成績証明書をアップロードすること。複数ある場合には1つのPDFに結合すること。日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書には、出身大学が発行し公印を押印した日本語訳又は英語訳を添付すること。 3) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書もアップロードすること。 4) 高等専門学校専攻科出身者は、学科・専攻科両方の成績証明書をアップロードすること。
安全保障輸出管理 チェックシート	以下のいずれかに該当する者 ・日本以外の国籍を有する者 ・日本の国籍と外国の国籍を有する者（重国籍者） ・入学希望時期の直前の所属（大学、勤務先等）が海外機関の者 * 在日本の機関や、過去に海外機関に所属していたが現在は在日本の機関に所属している者は、対象外。	WEB 出願システムの指示に従い、必要事項を正確に入力すること。
その他	該当者	志望専攻の「専攻入試案内」を参照すること。

(注意) 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳又は英語訳を添付すること。

8. 合格者の発表及び入学手続

◆令和8(2026)年		
2月12日(木) 午後4時頃	合格者の発表	本研究科WEBサイトに掲載する。 (https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/fee)
2月17日(火) 午後3時頃	入学許可通知書の交付	WEB出願システムのマイページを介して交付する。 (※) 安全保障輸出管理チェックシート提出者については、安全保障輸出管理審査完了後に交付する。 ・4月入学の入学許可通知書の交付を受けた者は、WEB出願システムのマイページに表示される入学手続に関する指示に従い、令和8(2026)年3月9日(月) (予定)までに必要な入学手続を行うこと。 ・上記の期日までに入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(注意)電話、FAX、メール等による合否についての照会には、一切応じない。

◆入学時に必要な経費(令和8(2026)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては入学料、授業料を徴収しない。また、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程の修了見込み者に対しては入学料を徴収しない。)

- ① 入学料 282,000円(予定額)
- ② 授業料 前期分 260,400円(年額520,800円)(予定額)

注) 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. 注意事項

(1)同時に本研究科の2つ以上の専攻に出願することはできない。

なお、本研究科の出願日程Aの第1次試験に既に合格している者は、合格を辞退することなく、出願日程Bに出願することはできない。

また、他大学及び本学他研究科(教育部を含む)と重複して入学することはできない。

英語による留学生特別プログラム(2026年度入学者)の第一次選考合格者は、出願することはできない。英語による留学生特別プログラム(2026年度入学者)の第一次選考の結果不合格だった者が、出願することは差し支えない。

(2)提出期日までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、また、書類の返却はしない。

(3)受験票は、令和7(2025)年12月23日(火)午後3時頃、WEB出願システムのマイページを介して交付するので、各自で印刷のうえ試験当日に持参すること。

(4)社会人で在職の身分のままで入学を希望する者は、入学手続きの際に、「在職のまま大学院に入学することに支障はない」旨の勤務先の承諾書(様式任意。証明者は上長であれば役職は問わない。)を提出すること。

(5)本学では、障害等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないよう、合理的な配慮

を行っており、そのための相談を受け付けている。受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願期限（3. 出願方法 参照）までに工学系研究科学務課大学院チーム（10. 問合せ・連絡先 参照）及び志望専攻の専攻事務室に申し出ること。なお、出願期限を過ぎての申出についても引き続き配慮検討の対象となるが、事前準備の関係で、申請が遅くなるほど、実際に提供できる配慮が限定されるため、できるだけ早く連絡すること。（詳細は、研究科入試情報ウェブページ<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/guideline>参照）

- （6）外国籍の者は、入学手続時まで、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- （7）事情によっては、出願手続、試験の方法、試験期日等について変更することもある。
- （8）納入された検定料は、どのような事情があっても、払い戻しはしない。
- （9）入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- （10）出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金等手続き、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- （11）入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- （12）災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は本研究科 Web サイト等で行うので注意すること。

10. 不正行為に対する対応

出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、ならびに試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が出てきた場合は、合格後、及び入学後においても遡って合格、及び入学を取り消すことがある。

11. 問合せ・連絡先

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム

電話 03(5841) 7747、6038（平日 9:00～17:00※土日祝日を除く）

※本募集要項に関する質問や問合せは、緊急の場合を除き、本研究科Webサイトにある「お問い合わせ窓口－入試関係（大学院）」からお問い合わせください。

(<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/about/info/contact>)

令和 7(2025)年 10 月

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っています。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としています。

従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

令和 8 (2026) 年度東京大学大学院工学系研究科 大学院入学試験外国語試験(英語) TOEFL スコアの提出について (修士課程・博士後期課程【出願日程 A・B】)

(2025 年 10 月 更新)

令和 8 (2026) 年度東京大学大学院工学系研究科修士課程・博士後期課程【出願日程 B】において、TOEFL スコアの提出を課す専攻は以下の通りです。

機械工学専攻・精密工学専攻・システム創成学専攻・電気系工学専攻・応用化学専攻・
化学システム工学専攻・先端学際工学専攻。

〔TOEFL スコアについて〕

- ・ TOEFL iBT/ TOEFL iBT Home Edition の公式スコアを、下記〔スコアの提出方法〕に従い提出してください。
- ・ TOEFL の受験申込方法、TOEFL iBT Home Edition の使用機器・受験環境等については、ETS の Web サイトで各自で確認してください。
- ・ 本研究科では Test Date Scores を採用します。MyBest scores は採用しません。
- ・ TOEFL-ITP 等の団体特別受験制度によるスコアシートの提出は利用できません。
- ・ 本研究科では大学院入学試験会場において TOEFL-ITP は実施しません。
- ・ TOEFL スコアについては、母国語が英語である場合も提出は必要です。

〔スコアの有効期限〕

- ・ 修士課程・博士後期課程【出願日程 A】は、受験日 (Test Date) が 2023 年 9 月以降のスコアを有効とします。
- ・ 修士課程・博士後期課程【出願日程 B】は、受験日 (Test Date) が 2024 年 2 月以降のスコアを有効とします。

〔スコアの提出方法〕

スコアの提出は、以下①②③のすべての手続きが必要です。①②③のうち、どれか一つでも手続きが完了していないと、スコアを受理することができませんので注意してください。

①TOEFL 公式スコアを送付する。

志望する専攻が指示するスコア提出期限までに、下記の「TOEFL 公式スコア送付先」にスコアが届くように、TOEFL 受験申込時に ETS アカウントから送付手続きをしてください。受験申込時に送付手続きをしていなかった場合は、速やかに送付手続きをしてください。

TOEFL 公式スコア送付先
DI(Designated Institution)コード : "8596"
Department コード : "99"

- ・ 送付手続きが正しく完了し、試験自体にも問題がなければ、当研究科では受験日から約 8 日後にオンラインで公式スコアを確認することができます。但し、試験時にネットワークや機器のトラブル等で再試験になったり、スコアの開示が遅れることがあるため、十分な日程の余裕を持って受験をしてください。
- ・ 大学院入試出願前に送付手続きをすることは可能です。また、過去に上記「TOEFL 公式スコア送付先」宛に有効期限内のスコアを送付済みの場合は再送付は不要です。
- ・ スコアの送付手続きは複数回おこなっても問題ありません。「②Appointment Number と受験日を「WEB 出願

システム」に登録する。」で登録した Appointment Number と受験日のスコアのみを受理します。

- ・スコアの到着状況についてはお答えできません。

②Appointment Number と受験日を「WEB 出願システム」に登録する。

提出するスコアの Appointment Number と受験日を、志望する専攻が指示するスコア提出期限内までに「WEB 出願システム」に登録してください。

③Test Taker Score Report を「WEB 出願システム」にアップロードする。

「②Appointment Number と受験日を「WEB 出願システム」に登録する。」で登録した Appointment Number と受験日の Test Taker Score Report (PDF) を、志望する専攻が指示するスコア提出期限までに「WEB 出願システム」にアップロードしてください。Test Taker Score Report (PDF) は、受験日から約 8 日後以降、ETS アカウントからダウンロードが可能です。

- ・「WEB 出願システム」に登録した Appointment Number ・受験日及び Test Taker Score Report は、志望する専攻が指示するスコア提出期限内であれば何度でも変更が可能です。

2025 年 3 月

2025 年 10 月更新

東京大学大学院工学系研究科